

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和5年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

情報衣環境学専攻  
生活情報通信科学コース

〔 英 語 〕

試験日：令和4年7月9日(土)

注 意

- (1) 解答用紙に受験番号、氏名を記入すること。所定の欄のみに記入し、所定の欄以外には絶対に記入しないこと。所定の欄以外に記入すると、その答案は採点されないので注意すること。
- (2) 出題されている試験問題（問題1～問題2）の全問を、それぞれ問題番号の印刷されている解答用紙に解答すること。
- (3) 解答用紙が不足した人は手を挙げてその旨を試験監督者に告げ、必要枚数の解答用紙を受け取ること。その場合には、問題番号を解答用紙の最初に記入すること。
- (4) 問題冊子の総ページ数 ----- 3ページ  
問題ページ ----- 第2～第3ページ
- (5) 問題冊子に乱丁、落丁、印刷不鮮明など不備があった場合は、挙手をして試験監督者に申し出ること。
- (6) 一般的な語学用英語辞書の使用は認めるが、電子機器は不可とする。
- (7) 試験開始後は、試験終了時刻までは試験室を出ることはできないので注意すること。  
ただし、気分が悪くなるなど緊急の場合は試験監督者の指示に従って退出できるので申し出ること。なお、退出している時間も試験時間に含まれる（試験時間の延長は認められない）ことに注意すること。

問題 1. 以下を読んで問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

Donald E. Knuth: The Art of Computer Programming, Volume 4, Fascicle 2  
Generating All Tuples and Permutations  
より抜粋。一部省略、一部改変

注  $n$ -tuple  $n$  個組, absurdly 不条理なほど, utterly まったく, astonishing 驚くほど,  
mixed-radix number system 混合基底数数値表現法

(問 1) 全文を日本語に訳せ。なお、文中の数式はそのまま書き写して良い。

問題 2. 以下を読んで問に答えよ。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

伊理正夫・藤野和建 著 『数値計算の常識』より抜粋、一部省略

注 補間 interpolation, 補外 extrapolation

(問 1) 全文を英語に訳せ。なお、文中の数式はそのまま書き写して良い。